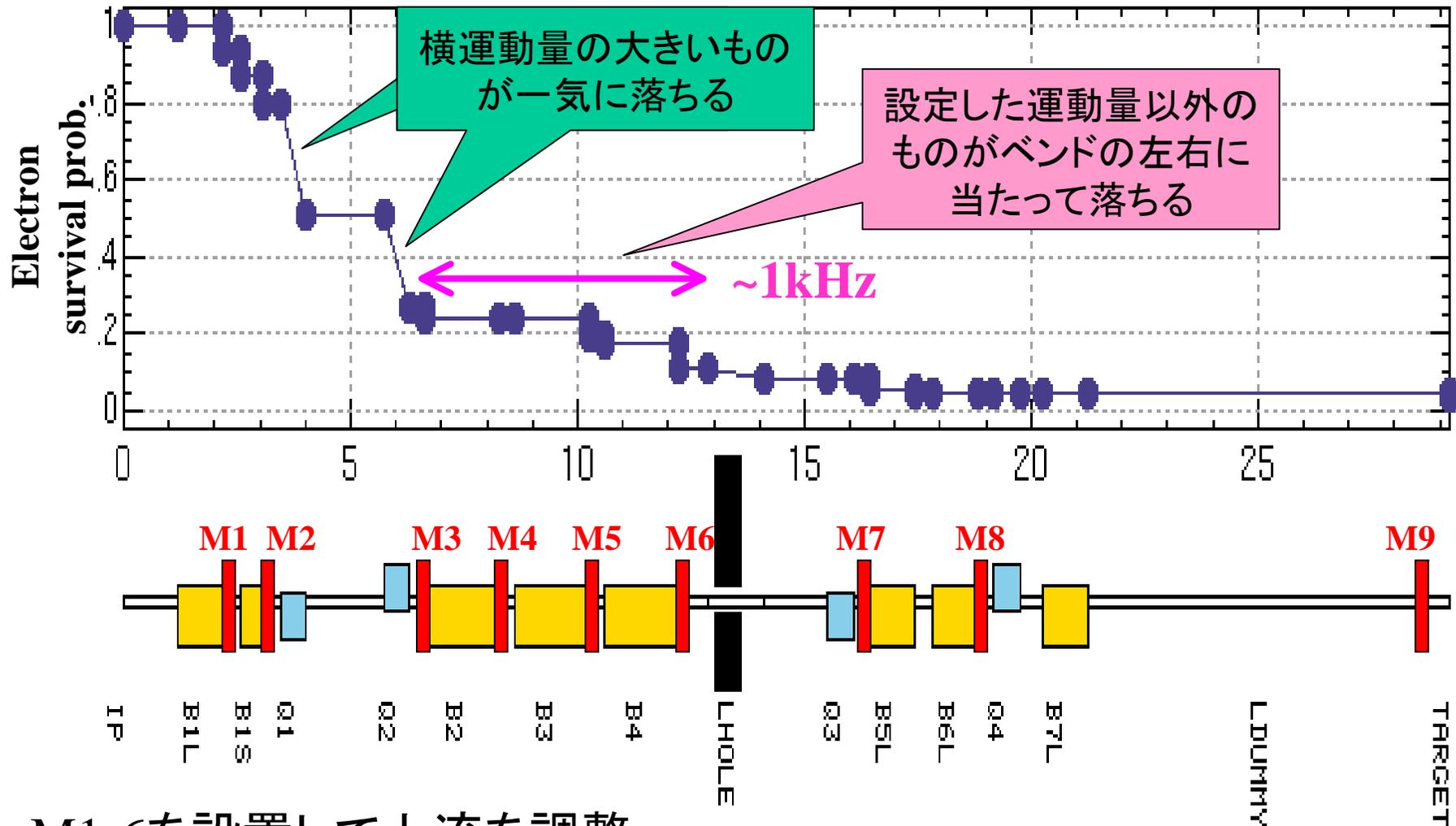
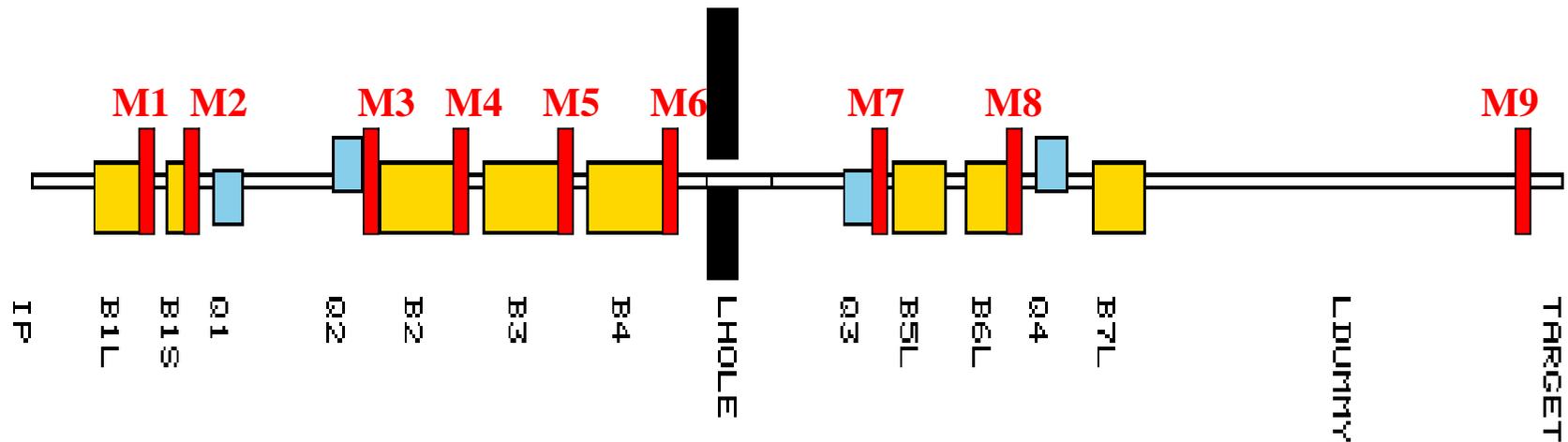


電子の生き残り確率



M1-6を設置して上流を調整

M1→M7, M4→M8, M5→M9



1. B1L, B1S, B2, B3, B4を 2.5GeVに合わせる
 1. M3-6のレートとサイズが極端に違わないことを確認する
 2. Q1, Q2を調整し、M3でのビームサイズを確認・調整
 3. B1L, B1Sを調整し、M4-6でのレートが高くなる場所を探す
 4. B2-4を微調整。ただし、Lholeへ導いているか
2. 運動量スキャンを行う
 1. 磁場較正の結果を用いて0.5-3.4GeVを0.5GeV刻み。
 2. 上記と同じ手順でB1 → B2-4を調整
3. モニターを下流へ移動
 1. M1 → M7, M4 → M8, M5 → M9
4. 上流を2.5GeVに設定する
 1. Q3-4を粗調整
 2. M9の位置をB5-7で調整
 3. B5-6を調整して、M9のレートが最大になるようにする。
 4. Q3-4を微調整し、M9でのサイズを決める。

スケジュール

- 9月
 - 9/5-7
 - モニターケーブル敷設
 - Electron monitor 上流6ヶ所に設置
 - マグネットの起動、水漏れや異常が無いかチェック
 - 9/10-14
 - モニターの動作確認(磁場の影響など線源でのチェック)
- 10月
 - 10/2 KEKB運転開始(立ち上げに数日)
 - Photon monitorによりターゲットが正しく置かれていることを確認1-2days
 - 上流から順にMagnetの調整 4-5 days
 - KEKB停止時、もしくは停止要求
 - モニター移設。3つをシールド外側へ。
 - 3つは残す。もしくはとりはずす。
 - ビーム上のPhoton monitorはずす
 - 下流のMagnetの調整 3-4 days
 - KEKB停止時、もしくは停止要求
 - 最下流(エリア外)以外のモニターははずす。